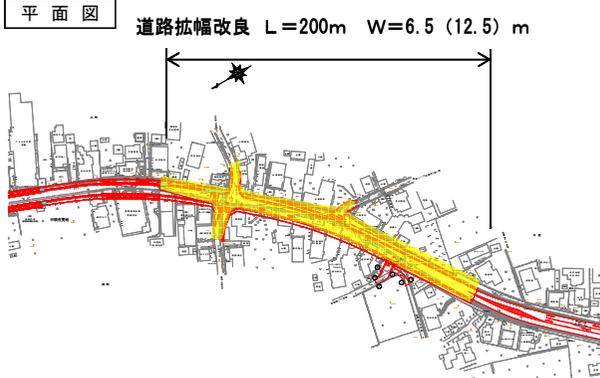


(様式2) 新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	一般国道403号					
事業毎の通番		2	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	綿内古屋(わたうちふるや)				
事業概要	事業目的	国道403号は、上越市から安曇野市に至る広域幹線道路である。そのうち、須坂市から千曲市間は第2次緊急輸送路に指定されており、地域経済を支える重要な路線となっている。しかしながら、長野市綿内地区では幅員が狭く、2車線が確保できておらず、大型車のすれ違いにも支障をきたしている。 当該区間の現道拡幅整備により、幅員狭小区間の解消を図り、安全で快適な道路空間の確保を図る必要がある。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	広域道路網整備計画(広域道路網マスタープラン) 長野市都市計画マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	現況交通量：11,730台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.3	国庫	258,000	其他	154,800	県債	17,200	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=200m、W=6.5(12.5)m			430,000						
年度事業内容(主な工種)	用地買収 一式			20,000	12,000		7,200		800	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 4億円 緊急輸送路(2次)の整備、通学路対策								
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進、観光振興								
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス：須坂長野東ICへの1次アクセス道路 ○医療・福祉・教育施設アクセス：長野松代総合病院附属穂病院への2次アクセス道路 ○地域の活性化：綿内流通ターミナル、綿内東山工業団地(2次アクセス)							評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 調査箇所 ほか ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(2次) ○地域指定：信越観光圏、豪雪地域、積雪地域							評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.3 ○事業期間：5年(H27~H31) ○代替案の検討：道路予備設計により経済比較実施済 ○他事業との連携：なし							評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：事故発生件数 1件 ○渋滞及び騒音・振動対策：移動性阻害箇所(イライラ箇所：綿内駅入口) ○歩道整備：歩道未整備区間に歩道を整備 ○道路構造：現況車道幅員5.0m							評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H24.11:地元説明会、H24.12:準備委員会が綿内区長会に説明) ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある((国)403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：地元区役員等からなる国道403号線改良準備委員会とともに計画策定。							評価	A
	部意見	事業の重要性、緊急性が高いため、平成27年度から新規事業化した。	行政改革課意見	須坂市と千曲市を結ぶ広域幹線道路であり緊急時の輸送路にも指定されていることから、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A		

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】	 		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】	 		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	須坂市から千曲市間では、地域経済を支える主要道路であるとともに、緊急輸送路に指定されており、安全・安心確保のためにも重要な路線となっている。しかしながら、長野市綿内地区の当該区間では2車線が確保できておらず、大型車のすれ違いにも支障をきたしている。一方、平成24年度3月に並行して走る長野電鉄歴代線が廃止となり、代替バスの主要路線となった。このため、円滑な交通環境の確保、バス利用者の定時性確保を図るため、当該区間の改良を実施したい。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元区に国道403号改良準備委員会が組織され、安全確保のため現道改良の要望がある。また、(国)403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会からも同様の要望がある。		
	③事業説明等の経緯	事業を実施していくことについて、準備委員会と確認を行い、その旨を沿線土地所有者に通知し、周知している。 ・地元説明会(県主催:H24.11 3回、準備委員会主催:H25.5) ・準備委員会協議(H25.9)		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県総合5カ年計画(調査箇所) 広域道路網整備計画(広域道路網マスタープラン) 長野市都市計画マスタープラン		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	低騒音舗装を検討し、沿線地域の生活環境確保を図る。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、綿内流通ターミナル、綿内東山工業団地等の産業拠点へのアクセス道路が整備されることにより、地域経済の活性化も期待される。		
	⑦その他	長野電鉄歴代線が、平成24年3月に廃止され、バスによる代替え運行が開始されており、更なる交通事情の悪化が予想されている。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 15' 27" 43 東経:E 36° 37' 00" 44